



## 2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月30日

上場会社名 内外トランスライン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9384 URL <http://www.ntl-naigai.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 常多 晃  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 三根 英樹 (TEL) 06-6260-4800  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 2019年9月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年12月期第2四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	11,301	△0.4	718	△2.2	737	2.3	501	4.0
2018年12月期第2四半期	11,350	7.9	734	2.2	721	△3.6	482	△21.8

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 335百万円(29.0%) 2018年12月期第2四半期 259百万円(△57.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	51.68	—
2018年12月期第2四半期	49.76	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第2四半期	11,805	8,988	70.1
2018年12月期	10,967	8,606	73.8

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 8,276百万円 2018年12月期 8,096百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	16.00	—	18.00	34.00
2019年12月期	—	17.00	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,500	5.4	1,750	8.2	1,790	8.0	1,220	6.4	125.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 1社(社名) 内外釜山物流センター株式会社、除外 1社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期2Q	10,698,000株	2018年12月期	10,698,000株
② 期末自己株式数	2019年12月期2Q	980,771株	2018年12月期	991,371株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期2Q	9,709,657株	2018年12月期2Q	9,699,781株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、当社は2019年8月2日に決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料につきましては、速やかに当社ウェブサイトに記載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年1月1日～2019年6月30日)における世界経済は、米中貿易摩擦の拡大及び長期化の懸念に加えて、新たに中東情勢も不安定要素となり先行き不透明な状況が続いております。

当社グループ業績に大きな影響を及ぼすわが国の貿易に関しては、中国の経済成長の鈍化が輸出全体の減少に影響し、また外国為替も円高に推移しており、貿易統計において輸出額は昨年より連続して前年割れとなっております。

このような状況の下、当社グループは、当連結会計年度が最終年となります第3次中期経営計画(2017年1月～2019年12月)の基本方針に基づき、国際総合フレイトフォワードラーとしてさらなる成長を目指す取組みを強化してまいりました。重点的に取組んでおります通関業及び国外における倉庫事業においては取扱いを拡大し、業績に寄与しております。

当第2四半期連結累計期間の当社グループの実績につきましては、連結売上高は対前年同四半期比でわずかに減収となり、連結営業利益において、内外釜山物流センター株式会社(以下 内外釜山物流センター)の取得関連費用等による販管費の増加を吸収し得ず対前年同四半期比で減益となっております。

単体においては、取扱数量の減少により売上高はわずかに前年同四半期を下回りましたが、価格改定による売単価の上昇により売上総利益が大きく改善されたため、営業利益は対前年同四半期比で増益となりました。

また、海外グループ会社においてはおおむね堅調に推移し、2019年4月営業開始の内外釜山物流センターの業績も寄与し対前年同四半期比増収増益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は11,301百万円(前年同四半期比0.4%減)、営業利益は718百万円(同2.2%減)、経常利益は737百万円(同2.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は501百万円(同4.0%増)と、売上高及び営業利益において前年同四半期実績を下回りましたが、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は対前年同四半期比増益となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## ① 日本

日本における国際貨物輸送事業につきましては、混載貨物輸出を主力としております。当第2四半期連結累計期間における売上高は、単体におきましては営業努力による売単価の上昇がありましたが、景気後退における取扱数量の減少分をカバーできずわずかに減収となりました。また、国内子会社におきましては、フライングフィッシュ株式会社が欧州からの輸入食材の取扱いを増やし増収となりましたが、株式会社ユーシーアイエアフレイトジャパンは航空輸送量の落込み、G20開催による関西国際空港の稼働率低下の影響もあり減収となりました。

この結果、売上高は、7,447百万円と前年同四半期と比べ156百万円(2.1%減)の減収となりましたが、セグメント利益(営業利益)は463百万円と前年同四半期と比べ5百万円増加(1.2%増)となりました。

## ② 海外

当社グループはアジア地域及び米国に連結子会社11社を有しております。当第2四半期連結累計期間における海外売上高は、上海内外特浪速運輸代理有限公司やNTL NAIGAI TRANS LINE (USA) INC.等が堅調に売上を伸ばし、また、内外釜山物流センターの売上寄与もあったため、海外セグメントにおける売上は増収となり、利益面においても販管費の減少で増益となりました。

この結果、売上高は、3,853百万円と前年同四半期と比べ107百万円(2.9%増)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は302百万円と前年同四半期と比べ13百万円増加(4.7%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は11,805百万円(前連結会計年度末比838百万円増加)となりました。増加の主な理由は、内外釜山物流センターの取得に伴う建物及び構築物の増加577百万円等によるものであります。

負債は2,816百万円(同455百万円増加)となりました。増加の主な理由は短期借入金の増加223百万円(内外釜山物流センターの既存借入金)、その他固定負債の増加170百万円等によるものであります。

また、純資産は8,988百万円(同382百万円増加)となりました。増加の主な理由は、利益剰余金の増加327百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末に比べ96百万円増加し、5,840百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果得られた資金は745百万円（前年同四半期は885百万円の収入）となりました。主な資金の増加は税金等調整前四半期純利益の計上737百万円等、主な資金の減少は法人税等の支払226百万円等であります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、325百万円（前年同四半期は236百万円の支出）となりました。主な資金の減少は内外釜山物流センターの株式取得による支出285百万円等であります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、211百万円（前年同四半期は164百万円の支出）となりました。主な資金の減少は配当金の支払額174百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度（2019年12月期）の業績につきましては、2019年2月8日に公表いたしました通期の業績予想を変更しておりません。

今後の見通しにつきましては、業績予想に関し、修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,743,927	5,840,132
売掛金	1,691,461	1,666,145
その他	589,108	570,463
貸倒引当金	△3,785	△3,505
流動資産合計	8,020,710	8,073,235
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,512,189	2,089,917
その他(純額)	543,465	748,672
有形固定資産合計	2,055,654	2,838,590
無形固定資産		
のれん	86,965	99,602
その他	78,215	76,586
無形固定資産合計	165,181	176,188
投資その他の資産		
その他	1,035,956	1,020,205
貸倒引当金	△309,906	△302,344
投資その他の資産合計	726,049	717,861
固定資産合計	2,946,885	3,732,639
資産合計	10,967,596	11,805,875

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,105,542	1,109,633
短期借入金	—	223,680
未払法人税等	252,407	228,239
賞与引当金	18,486	38,331
その他	533,822	562,302
流動負債合計	1,910,258	2,162,186
固定負債		
退職給付に係る負債	298,613	332,403
その他	152,083	322,288
固定負債合計	450,696	654,692
負債合計	2,360,955	2,816,878
純資産の部		
株主資本		
資本金	243,937	243,937
資本剰余金	225,260	228,540
利益剰余金	8,546,872	8,873,928
自己株式	△1,010,833	△1,000,025
株主資本合計	8,005,237	8,346,380
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,763	5,981
為替換算調整勘定	86,875	△74,398
退職給付に係る調整累計額	△1,567	△1,523
その他の包括利益累計額合計	91,071	△69,940
非支配株主持分	510,332	712,556
純資産合計	8,606,641	8,988,996
負債純資産合計	10,967,596	11,805,875

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
売上高	11,350,159	11,301,155
売上原価	8,304,440	8,171,860
売上総利益	3,045,719	3,129,295
販売費及び一般管理費	2,311,004	2,411,008
営業利益	734,714	718,286
営業外収益		
受取利息	19,092	22,848
不動産賃貸料	15,392	12,123
移転補償金	—	10,000
その他	7,825	10,186
営業外収益合計	42,310	55,158
営業外費用		
支払利息	—	2,676
不動産賃貸費用	2,393	2,402
為替差損	44,518	22,095
支払手数料	8,605	6,160
その他	242	2,288
営業外費用合計	55,759	35,623
経常利益	721,265	737,821
特別利益		
固定資産売却益	85	—
特別利益合計	85	—
特別損失		
固定資産除売却損	30	—
施設利用会員権売却損	485	—
施設利用会員権評価損	926	—
特別損失合計	1,441	—
税金等調整前四半期純利益	719,909	737,821
法人税、住民税及び事業税	215,465	203,753
法人税等調整額	△1,083	8,814
法人税等合計	214,382	212,568
四半期純利益	505,526	525,253
非支配株主に帰属する四半期純利益	22,878	23,478
親会社株主に帰属する四半期純利益	482,648	501,774



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	505,526	525,253
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,005	217
為替換算調整勘定	△231,846	△190,440
退職給付に係る調整額	89	46
その他の包括利益合計	△245,763	△190,177
四半期包括利益	259,763	335,075
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	267,034	340,762
非支配株主に係る四半期包括利益	△7,270	△5,686

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	719,909	737,821
減価償却費	61,608	111,652
のれん償却額	15,742	14,707
賞与引当金の増減額(△は減少)	20,598	20,288
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8,254	25,819
貸倒引当金の増減額(△は減少)	16,645	△4,069
受取利息及び受取配当金	△21,142	△24,879
支払利息	—	2,676
為替差損益(△は益)	49,042	34,142
移転補償金	—	△10,000
固定資産除売却損益(△は益)	△55	731
施設利用会員権評価損	926	—
施設利用会員権売却損	485	—
売上債権の増減額(△は増加)	48,459	25,716
たな卸資産の増減額(△は増加)	593	△252
仕入債務の増減額(△は減少)	56,483	570
未払費用の増減額(△は減少)	△2,880	9,084
長期未収入金の増減額(△は増加)	△21,236	3,659
その他の資産の増減額(△は増加)	77,376	41,562
その他の負債の増減額(△は減少)	26,192	△49,524
小計	1,057,004	939,707
利息及び配当金の受取額	21,142	24,879
利息の支払額	—	△2,624
法人税等の支払額	△192,903	△226,936
移転補償金の受取額	—	10,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	885,244	745,025
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△168,303	△16,800
有形固定資産の売却による収入	1,899	375
無形固定資産の取得による支出	△16,209	△10,684
非連結子会社株式の取得による支出	△10,877	—
子会社株式の取得による支出	—	△285,114
その他	△42,510	△13,275
投資活動によるキャッシュ・フロー	△236,000	△325,498
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	226,080
長期借入金の返済による支出	—	△226,080
配当金の支払額	△164,873	△174,693
その他	—	△36,436
財務活動によるキャッシュ・フロー	△164,873	△211,129
現金及び現金同等物に係る換算差額	△136,403	△112,191
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	347,967	96,204
現金及び現金同等物の期首残高	5,101,213	5,743,927
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,449,181	5,840,132

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,603,785	3,746,373	11,350,159	—	11,350,159
セグメント間の内部売上高 又は振替高	170,652	378,287	548,940	△548,940	—
計	7,774,437	4,124,661	11,899,099	△548,940	11,350,159
セグメント利益	458,143	289,222	747,365	△12,651	734,714

(注)1. セグメント利益の調整額△12,651千円には、のれん償却額△12,631千円及びその他調整額△19千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,447,187	3,853,967	11,301,155	—	11,301,155
セグメント間の内部売上高 又は振替高	166,479	379,161	545,640	△545,640	—
計	7,613,666	4,233,129	11,846,796	△545,640	11,301,155
セグメント利益	463,844	302,745	766,590	△48,304	718,286

(注)1. セグメント利益の調整額△48,304千円には、のれん償却額△14,013千円、子会社株式の取得関連費用△36,909千円及びその他調整額2,618千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「海外」セグメントにおいて、当第2四半期連結会計期間に連結子会社、内外釜山物流センターの株式を取得しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は当第2四半期連結累計期間において29,088千円であります。のれんの金額は、当第2四半期連結会計期間末において、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。